

足利事件 菅家さん釈放！



冤罪 栃木県足利市で90年、4歳の女の子が殺害された「足利事件」で、無期懲役が確定し、服役中だった菅家（すがや）利和さんは、4日午後、千葉刑務所から釈放されました。91年12月の逮捕から17年半ぶりに拘束を解かれました。

菅家さんは、記者会見で、「私は無実。間違っただけです。当時の刑事、検察官たちは絶対に許さない。誤ってほしい。人生を返してもらいたい」と語りました。

いっぽう、栃木県警の石川正一郎本部長は11日、「真犯人とは思われない方が、長期間にわたり刑に服されることとなったことについて、誠に遺憾であり、申し訳ない」とのコメントを発表しました。

拘束17年、やっと無罪へ

菅家さんの釈放は本当によかった。

無実なのに自白させられるときの心境はどんなのだろうか。「取調べで刑事に髪を引っ張られたり、け飛ばされたりして、『お前がやったんだろ』と厳しく追及され、自白してしまった」と、会見で語った菅家さん。

“自白の強要と拷問とも取れる取調べから開放されたい”、どれほど惨めな思いだったか、胸が痛みます。

日本は冤罪があとをたちません。私も「支援する会」に所属する茨城の布川事件も冤罪です。犯人とされた2人は逮捕から40年かかってやっと再審開始が決定。完全無罪判決を勝ち取るために、今、全国をまわって支援要請に奮闘中です。

6月議会一般質問か

大名：高齢者の医療費無料化は喫緊の課題ではないか

村長 安心して子を産み、育て、安心して老いることができる社会に、東海村ならできる

後期高齢者医療制度が導入されてから、非常に悩ましい月日がすぎてきた。かつては70歳になると医療費は無料になると、そういう支援が行われていた。それが逆流しようとう75歳以上の方には、保険料を別枠にし、自己負担をさせるということにまでなった。こうしたことに対し、我われとして何ができるかという、広域連合という枠組みの中にくみこまれて、単独にはどうにもできないということがあったが、その突破口として村が今年度からはじめたのが保険料助成事業。これは評価できると思う。

村は、現在、妊娠したら医療費は無料、こどもも中学卒業まで無料、中間はあるのだが、やはり、安全な村で安心して一生を送ることができるためには、「後期高齢者の医療」と「介護」をきちんとしていかなければならないと思う。

安心して子を産むことができ、育てることができる、そして安心して老後を送ることができる、こういう社会にすることができるのはこの東海村だと思う。

東海村は財政が豊かだからできるという方もいるが、金があってもやらないところもありますし、あるならばやれることはやったらどうだというふうに私は思っていますので、そういうふうに行っていきたいと考えています。